

学会設立20周年

千葉看護学会第20回学術集会



ニュースレター
第3号
(7月16日発行)

「イノベーション—今こそ、現場を動かそう—」

研究の知見をいかに現場に適用するか。
20周年記念 理事会企画は、アイオワ大学の
Cullen博士のご講演です！
皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

講演: Models to Guide Implementation of Evidence-Based Practice
(研究と実践の往還)

講師: Dr. Laura Cullen, DNP, RN, FAAN
(University of Iowa Hospitals and Clinics)

交流集会のトピックスが決定しました。
幅広い角度からの知的交流が広がることを期待しています。

- ハンセン病の語りの保存と語りから学ぶ医療倫理
近藤真紀子 (岡山大学大学院保健学研究科) 他
- 都市型診療所の機能と診療所看護師のコンピテンシー
大塚真理子 (埼玉県立大学) 他
- 身体の再学習を支援する
荒木暁子 (千葉県千葉リハビリテーションセンター) 他
- 「千葉看護学会ならではの」といえる論文の探索
—表彰論文の評価基準作成に向けて—
湯浅美千代 (順天堂大学医療看護学部) 他

ご応募
ありがとう
ございました!

- 期 日: 平成26年9月13日 (土)
- 会 場: 千葉大学看護学部(千葉大学亥鼻キャンパス)
- 参加申込み: 事前申込みは、8/8まで。当日参加もできます。
詳しくは、学会ホームページをご覧ください。

<http://www.cans-net.jp/society/>